

化学物質等安全データシート (MSDS)

1. 製品及び会社情報

製品名	液化石油ガス
会社名	
住所	
担当部門	
担当者 (作成者)	
電話番号	
FAX番号	
緊急連絡先	

2. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物
化学名	プロパン及びブタン
別名	LPガス、LPG
成分及び含有量	プロパン及びブタンを主成分とするもの プロパン 90wt%以上 100wt%未満 ブタン 0wt%以上 10wt%未満
化学特性 (化学式又は構造式)	プロパン C_3H_8 ブタン C_4H_{10}
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	プロパン 3 ブタン 4
CAS.No.	プロパン 74-98-6 ノルマルブタン 106-97-8 イソブタン 75-28-5
国連分類 (単一製品)	分類 2.1
国連番号 (単一製品)	番号 1075
化学物質管理促進法 (PRTR法)	水銀を含む場合は、プロパン中に 4ppb以下 ($0.009\text{mg}/\text{Nm}^3$ 以下) ブタン中に 30ppb以下 ($0.08\text{mg}/\text{Nm}^3$ 以下) (労働安全衛生法及び、PRTR法適用外)

3. 危険有害性の要約

分類	高圧ガス、可燃性ガス
危険性	
有害性	(ヒトについての症例、疫学的情報を含む) 現在のところ確定された有害性の情報は無いが、簡易のガスコンロに使用されるカ-トリッジ容器又はガスライター-容器には、「液化石油ガスは燃料用等に使用するものであり、絶対に吸引しないこと」とされている。
環境影響	

4. 応急措置

吸入した場合：	多量にガスを吸い込んだ場合、直ちに新鮮空気のある場所へ移動し、安静にする。呼吸が乱れている場合は、着衣の締め付け部分を緩める。気分が回復しない場合は直ちに医師の手当てを受ける。
皮膚に付着した場合： (液状の場合)	傷み等異常が見られる場合は凍傷の可能性があり、大量の水で洗い流し、できるだけ早く接触部を温湯で暖め、医師の手当てを受ける。
目に入った場合： (液状の場合)	直ちに清浄な水で十分洗浄する。コンタクトレンズを使用している場合は、固着していない限り取り除いて洗浄する。刺激等の異常が見られる場合は、直ちに医師の手当てを受ける。
飲み込んだ場合：	

5. 火災時の措置

消火剤	ABC 又は、BC 型粉末消火器、水
消火方法	ガスの供給を断つ。散水等により周辺を冷却し延焼防止を図る。 ガスの流出を防止する場合は、消化剤にて消火する。 ガスの流出が防止不可の場合は、消火せずに鎮火を待つ。
危険有害性	

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項	
環境に対する注意事項	

除去方法	付近の着火源を取り除く。ガスの供給を断つ。 漏洩箇所の漏れを止める。換気・拡散等を行なう。
二次災害の防止策	

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い	漏洩の無きこと。火気厳禁。漏洩の滞留を防止する。 容器は転倒・転落・衝撃等を防止する。
保管	過充填禁止。温度上昇を防止する（40 以下）
その他	

8. 暴露防止及び保護措置

管理濃度	設定されていない、
許容濃度	ACGIH TLV プロパン：2500PPM ブタン：800PPM
設備対策	健康障害に対する措置の規定はない。
保護具	

9. 物理的及び化学的性質

外観	大気圧下・・・ガス状・無色透明・ 圧力容器内・・・液状・無色透明
臭気	無臭（工業用無臭のガス以外は着臭）
分子量	
沸点	-42.1～-0.5
融点	-187.7～-138.4
比重	
蒸気圧	1.275～0.278Mpa（40 ）
蒸気密度	ガス密度： 1.895～2.538Kg/m ³ （0.1Mpa・15.6 ） 液密度： 507.6～584.7Kg/m ³ （15 ）
溶解度	水に微溶
引火点	-104.4～-73.8
発火点	405～550
爆発限界	下限 1.8Vol% 上限 9.5Vol%

10. 安定性及び反応性

安定性	安定
反応性	安定

11. 有害性情報

急性毒性	
刺激性	
感作性	
変異原性	
亜慢性毒性	
慢性毒性	

12. 環境影響情報

基礎評価	この物質に関する確定された環境影響情報は無い。
下水処理	適用外
移動性	
残留性 / 分解性	
生体蓄積性	
魚毒性	
分配係数	
その他情報	溶液から急速に蒸発する事から水中生物に対して重大な危険を及ぼすとは考えられない。

13. 廃棄上の注意

大量の場合：	液状にて大気放出禁止。 やむを得ずガス状放出の場合は、火気の無い通風良好な状態で実施する。 ガスが入っている容器をそのまま廃棄すると違反になる。 空容器・不要容器は販売業者に返却する。
少量の場合：	
使用済容器：	空容器・不要容器は販売業者に返却する。
焼却する場合：	

14. 輸送上の注意

	容器は転倒・転落・衝撃等を避ける。 容器は温度の上昇を防止する。(40 以下) 火気の使用を禁止する。 運搬車は警戒標を掲げ、防災工具・消火器等を常備する。
--	---

15. 適用法令

高圧ガス保安法	第2条(高圧ガス) 液化石油ガス保安規則
---------	-------------------------

消防法	適用
船舶安全法	
港則法	
航空法	
P R T R 法	
労働安全衛生法	適用
毒物劇物取締法	
液化石油ガス法	適用
建築基準法	適用
ガス事業法	適用

16 . その他の情報

適用範囲	
引用文献	
圧力単位の表示方法	
問合せ先	